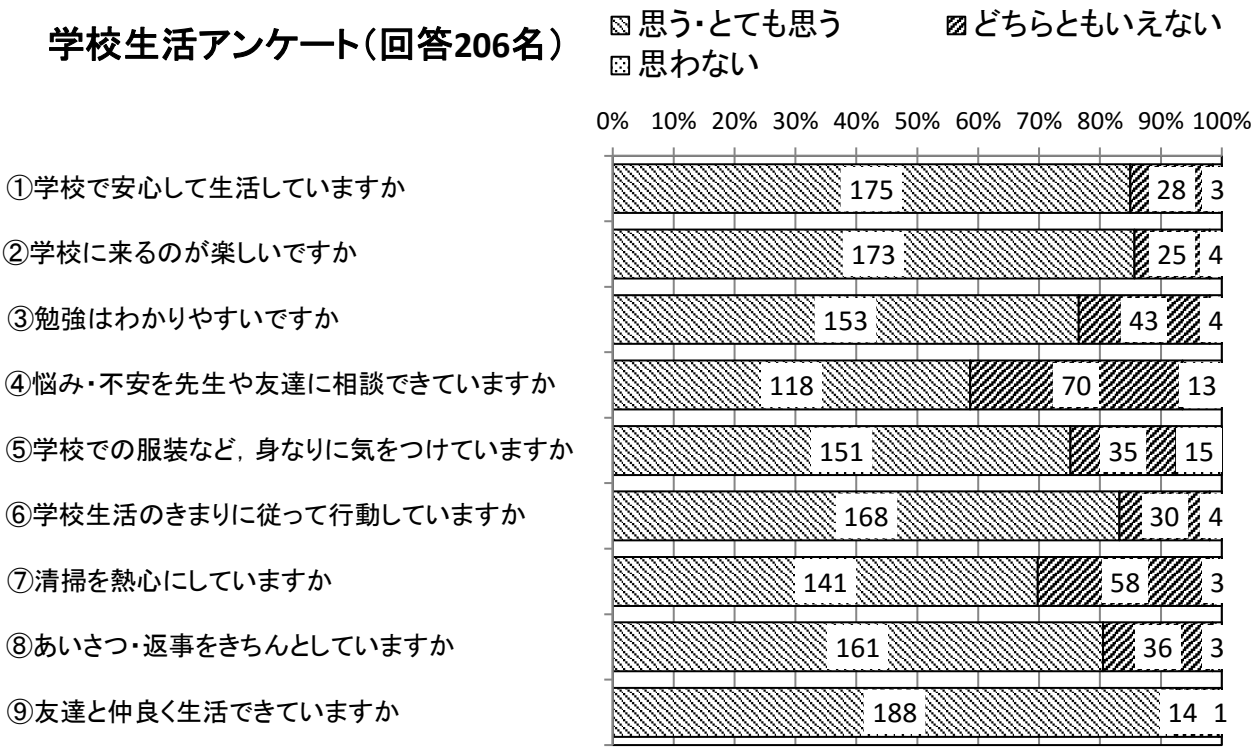
令和３年１０月１５日

令和３年度　児童の学校生活アンケートについて

児童を対象にした学校生活アンケートの結果，及び考察と改善の視点についてお知らせいたします。結果からは，以下に示したとおり成果と課題が明確になりました。学校では，この結果を真摯に受け止め，今後の取り組みをさらに充実させていきます。







【改善の視点】

アンケート結果を見ると，多くの児童が肯定的な評価をしていることがわかります。昨年度は，新型コロナウイルス感染症に由来する不安，学校での生活様式の変化に対する戸惑いなどから，多くの項目でポイントが低下しましたが，今年度は回復傾向にあります。

①，②，⑥に関しては，昨年度よりも大幅にポイントが上昇しました。児童が新しい生活様式にも慣れ，制限がある中でも，楽しんで学校生活を送っていることが分かります。

④，⑨に関し，学校では，学期に一度「教育相談期間」を設け，学級担任が児童個々と面談し，児童の思いや悩みを受け止める機会を設けています。特に，昨年度，今年度とも，新型コロナウイルス感染症の影響で従来の学校生活や行事，教育活動が営めず，そのことに対して不安や戸惑いを抱える児童もいました。そこで，学級担任以外の職員やスクールカウンセラーとの連携のもと，児童の相談にいつでも応じられるようにしています。今後とも，児童との対話の時間がより多くとれるよう，時間の確保に努めてまいります。

また，教職員と児童，児童相互の望ましい人間関係を築く教育活動の工夫や，他を尊重し合う温かな環境づくりを重視して学校運営を進めてまいります。さらに外部の専門機関との連携を強め，児童個々のニーズに応じた指導と支援の充実を図っていく所存です。

児童にとって学校は，一人一人が輝き，生き生きと生活できる場でなければなりません。今回のアンケートで肯定的に回答できなかった児童にも目を向けながら，実態に応じた指導・支援に努めてまいります。

今後も，様々な手段でお子様の様子をお知らせしながら，また地域の皆様や御家庭の協力をいただきながら，教育活動を展開してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。